



この記事は、主に右記
SDGsのゴールの達成
に役立つものです。
【SDGs・持続可能な開発目標】



地域防災リーダーとして 命とまちを守りたい

「自分たちのまちを自分たちで守りたい」。
その思いから、「地域防災リーダー」として、
防災士の皆さんが活躍しています。
閩災害予防課(☎504-2664、☎504-2802)

防災士とは

防災に関する知識と技能を修得した人に、NPO法人日本防災士機構が認証する民間資格です。社会のさまざまな場で防災力を高めるための活動を担います。

防災訓練で備蓄品などの説明をする地域防災リーダー

地域防災リーダーとは

市が行う「防災士養成講座」を受講後、試験に合格し、地域で防災活動を率先して行う人のことです。この講座は、民間資格である防災士(上記)の資格取得制度を活用しています。

現在、約1,200人の地域防災リーダーが、各地域で活躍。自主防災会や町内会、小・中学校などと協力し、避難訓練や防災知識の普及啓発活動、わがまち防災マップ作成などを行っています。

防災士養成講座の 受講者募集

自分たちが住むまちの防災力を高め、災害に備えるために、地域の防災リーダーとして活動を始めてみませんか。

今年度の防災士養成講座の受講者を募集します。

募集要件

閩次の全てに該当する人

- お住まいの各小学校区自主防災会連合会の会長の推薦を受けた人
- 普通救命講習を受講できる人
- 資格取得後、3年程度、地域の防災活動に携わることができる人
- 地域防災リーダー名簿に必要な個人情報掲載に同意する人

閩①12月3日(土)~4日(日)、②来年2月11日(祝)~12日(日)の8:50~18:00 ※①、②いずれかを受講。各100人程度

場市役所本庁舎

閩所定の申込書に必要事項を記入し、直接か、郵送、Eメールで、9月2日(金)(必着)までに同課へ
申込書は市ホームページで

市HP ページ番号 17901



report 過去の災害を教訓に、備えの大切さを伝えたい

6月某日、三入中学校(安佐北区)で、地域住民約100人による防災訓練が行われました(メイン写真)。これは、三入東小学校区の自主防災会が主催し、同学区の地域防災リーダーが中心となって準備、開催したものです。

地域防災リーダーをまとめる佐々木満同会会長は「平成30年7月の豪雨災害を教訓に、防災意識が薄れないよう訓練などを続けています。災害時を想定した避難所開設訓練では、毎回、課題が浮き彫りになります。それらを地域防災リーダーらで話し合い、改善するようにしています」と話します。



講師をする地域防災リーダーの榎尾英樹さん

父の活動する姿で防災士に

この日、参加した地域防災リーダーの中で、最年少の県立広島高2年、榎尾優舞さん(16・右写真)は「中学生だった平成30年7月の豪雨災害の時、地域防災リーダーの父と一緒に土砂撤去などのボランティアをしました。災害を目の当たりにして、防災の知識が必要であることを痛感し、防災士の資格を取りました。父の『若い人がリーダーとなり、一人でも多くの人に防災や減災の知識を伝えてほしい。命の大切さを実感し、厳しい自然現象を乗り越えてほしい』という願いを胸に、災害に備えることの重要性を伝えていきたいです」と意気込みを語ってくれました。